

東南村山 おいしい米づくり情報

第 7 号 穂 肥 編

発行：令和 7 年 7 月 3 日発行
やまがた温暖化対応米づくり日本一運動村山地域本部
村山総合支庁農業技術普及課
(TEL：023-621-8295)

出穂はやや早まる見込み！遅れずに適期適量の穂肥を！

生育状況（6/30 現在、村山農業技術普及課生育調査圃）

- ・平年と比べ、茎数は「つや姫」が並、「はえぬき」「雪若丸」で少なく、葉色はいずれの品種も淡い状況です。
- ・葉数がやや多く、今後高温で経過する予報のため、出穂は早まると予想されます。

【表 1 生育診断圃の調査結果 6/30 現在】

品種 (地域)	年 次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
はえぬき (山形市羽黒堂)	本 年	54.9	569	10.0	42.2
	平 年	48.1	653	9.4	44.7
	平年比	114	87	0.6	-2.5
つや姫 (山形市南石関)	本 年	54.9	541	9.2	36.0
	平 年	45.3	537	9.1	39.6
	平年比	121	101	0.1	-3.6
雪若丸 (山形市羽黒堂)	本 年	45.2	494	10.1	43.3
	平 年	39.7	631	9.5	44.6
	平年比	114	78	0.6	-1.3

- ・「中干し」を行っていない圃場は**直ちに実施し、無効分けつの抑制と根の活力向上**を図りましょう。
- ・一発肥料を施用した圃場は「中干し」で生育量を調整します。地力が低い圃場や生育量が少ない圃場で弱めの中干しとしましょう。

穂肥

- ・穂肥の施用時期は、下表を目安とし、品種ごとの生育診断に基づき施用量を決定しましょう。
- ・出穂はやや早まる見込みです。葉色が低下し始めている圃場があるため、遅れずに穂肥を実施しましょう。

品種	出穂期 (本年予想)	穂肥の タイミング	穂肥時期の 目安	施肥量 (Nkg/10a)
ひとめぼれ	7月29～7月31日	出穂20日前	7月9～11日	1.5
はえぬき	7月31～2日	出穂25日前	7月6～8日	2.0
雪若丸	7月31～2日	出穂25日前	7月6～8日	1.5
つや姫	8月6～8日	出穂30日前	7月7～9日	1.0～1.5
コシヒカリ	8月6～8日	出穂15日前	7月22～24日	1.0～1.5

- ・葉色が濃い圃場は**減肥対応**とし、玄米タンパク質含有率の上昇を防ぎましょう。
- ・葉色が淡い圃場は早めに穂肥を行いましょう。
- ・出穂間際の穂肥は、玄米タンパク質含有率が高まり、食味低下するため、行いません。
- ・雪若丸に補完追肥を行った圃場は、施用した窒素分を穂肥窒素量から減肥します。

中干し後の水管理

- ・「中干し」終了後は、足跡に水がたまる程度とし、徐々に**間断かん水(2日湛水、2日落水)**に移行します。
- ・幼穂形成期(出穂 25 日前頃)～穂揃期は**水分や酸素を多く必要とするため、出穂期まで間断かん水を継続**しましょう。
- ・農業用水を地域内で有効に活用するため、適期・適正なかん水に努めましょう。
「水管理強化期間：8 月 1 日～8 月 10 日」

斑点米カメムシ類対策

- ・平年より発生が**多くなっています！**
- ・畦畔と圃場周辺の草刈り、除草剤散布を行い、発生源をなくしましょう！
- ・出穂間近の草刈りは、カメムシ類を水田に追い込んでしまうため、出穂 2 週間前頃には終了しましょう。
- ・水田内にノビエ、ホタルイ等が残っている圃場が見られるため、**残草対策を確実に**行いましょう！

【草刈り強化期間 7 月 10 日～20 日】

**地域ぐるみで草刈りに取り組むことが重要です！
地域全体でカメムシ被害防止を図りましょう！**



アカスジカスミカメ

体長約 5～7mm



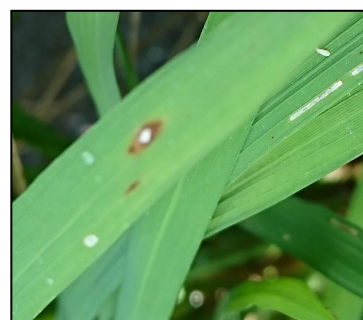
アカヒゲホソミドリ

カスミカメ

体長約 6mm

いもち病対策

- ・圃場をよく見回り、**早期発見、早期防除**を徹底しましょう！
- ・育苗箱施用薬剤の持続効果は 7 月上旬～中旬頃のため、7 月中旬以降はいもち病の発生リスクが高まります。
→**7 月中旬以降、早めに予防剤を散布**しましょう！
- ・いもち病の発生が確認されたら、**治療効果のある薬剤**で発生初期に防除しましょう！



葉いもちの病斑

～STOP 農作業事故～

農作業中の転落・転倒事故を防ぎましょう。
熱中症に要注意！作業中はこまめに水分補給と休憩を取りましょう。

管内の稲作情報を
LINE に掲載しています！

QR コードを読み込んで、
グループ登録をして下さい。



稲作情報